

各種申告書の記載例

○ 令和7年分 給与と所得者の扶養控除等（異動）申告書

※ 本年の年末調整においては、扶養控除等の対象となる扶養親族等の所得要件の引上げなどの改正が行われています。これにより新たに扶養親族等を有することとなった場合は、その旨を記載した扶養控除等（異動）申告書を提出することとなりますので、提出漏れがないようご注意ください。

令和7年分 給与と所得者の扶養控除等（異動）申告書									
1	所轄税務署長等 〇〇〇〇 株式会社	給与の支払者の 名称（氏名） 〇〇〇〇 株式会社	（フリガナ） あなたの氏名 ヤマカワ タロウ	あなたの生年月日 昭和57年 1月 1日	あなたの住所 〇〇市××町 23-7	あなたの配偶者の氏名 〇〇市××町 23-7	あなたの扶養親族 〇〇市××町 23-7	あなたの扶養親族 〇〇市××町 23-7	あなたの扶養親族 〇〇市××町 23-7
2	源泉控除対象配偶者（注1） ヤマカワ アキコ	あなたの氏名 山川 明子	あなたの生年月日 昭和57年 10月 5日	令和7年中の所得の見積額 400,000円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）	
3	控除対象扶養親族（16歳以上） （平22.11以降生）	1 山川 一郎 子 昭和57年 2月 4日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 0円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）	
4	2 山川 二郎 子 昭和57年 5月 17日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 0円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）		
5	3 山川 隆雄 父 昭和57年 2月 5日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 300,000円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）		
6	障害者、障害者 と同居する 障害者学生 山川 隆雄	障害者学生 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 0円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）		
7	他の所得者が 控除を受ける 扶養親族等	氏名 山川 隆雄	あなたの生年月日 昭和57年 2月 5日	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	控除を受ける他の所得者 山川 隆雄	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）	
8	16歳未満の 扶養親族等 （平22.12以降生）	1 ヤマカワ サロウ 子 昭和57年 7月 5日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 0円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）	
9	2 山川 二郎 子 昭和57年 5月 17日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 0円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）		
10	3 山川 隆雄 父 昭和57年 2月 5日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 300,000円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）		

1 氏名、住所などの記入

令和7年分 給与と所得者の扶養控除等（異動）申告書									
1	所轄税務署長等 〇〇〇〇 株式会社	給与の支払者の 名称（氏名） 〇〇〇〇 株式会社	（フリガナ） あなたの氏名 ヤマカワ タロウ	あなたの生年月日 昭和57年 1月 1日	あなたの住所 〇〇市××町 23-7	あなたの配偶者の氏名 〇〇市××町 23-7	あなたの扶養親族 〇〇市××町 23-7	あなたの扶養親族 〇〇市××町 23-7	あなたの扶養親族 〇〇市××町 23-7
2	源泉控除対象配偶者（注1） ヤマカワ アキコ	あなたの氏名 山川 明子	あなたの生年月日 昭和57年 10月 5日	令和7年中の所得の見積額 400,000円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）	
3	控除対象扶養親族（16歳以上） （平22.11以降生）	1 山川 一郎 子 昭和57年 2月 4日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 0円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）	
4	2 山川 二郎 子 昭和57年 5月 17日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 0円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）		
5	3 山川 隆雄 父 昭和57年 2月 5日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 300,000円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）		

▶① 所轄税務署長等

給与の支払者の所在地等の所轄税務署長とあなたの住所地等の市区町村長を記載します。

▶② 給与の支払者の法人（個人）番号

この申告書を受理した給与の支払者が、給与の支払者の個人番号又は法人番号を付記するため、あなたが記載する必要があります。

▶③ あなたの個人番号

あなたの個人番号を記載する必要がありますが、一定の要件の下、個人番号の記載を要しない場合がありますので、給与の支払者に確認してください。

▶④ 従たる給与についての扶養控除等申告書の提出

2か所以上から給与の支払を受けている人が、他の給与の支払者に「従たる給与についての扶養控除等申告書」を提出している場合に○を付けます。

2 源泉控除対象配偶者、控除対象扶養親族の記入

令和7年分 給与と所得者の扶養控除等（異動）申告書									
1	源泉控除対象配偶者（注1） ヤマカワ アキコ	あなたの氏名 山川 明子	あなたの生年月日 昭和57年 10月 5日	令和7年中の所得の見積額 400,000円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）	
2	控除対象扶養親族（16歳以上） （平22.11以降生）	1 山川 一郎 子 昭和57年 2月 4日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 0円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）	
3	2 山川 二郎 子 昭和57年 5月 17日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 0円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）		
4	3 山川 隆雄 父 昭和57年 2月 5日	特定扶養親族 〇〇市××町 23-7	令和7年中の所得の見積額 300,000円	非居住者である親族 生計を一にする事実 〇〇市××町 23-7	住所又は居所 〇〇市××町 23-7	異動月日及び事由 （令和7年中に異動があった場合は記載してください。）	扶養親族等 （注2）		

▶① A 源泉控除対象配偶者

あなた（令和7年中の合計所得金額の見積額が900万円以下の人）に限り、生計を一にする配偶者（青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。）で令和7年中の合計所得金額の見積額が95万円以下の人について記載します。

なお、年末調整において、配偶者（特別）控除の適用を受けるには、この欄の記載の有無に関わらず「給与と所得者の配偶者控除等申告書」の提出が必要です。

▶② B 控除対象扶養親族

次の扶養親族について記載します。

- イ 居住者のうち、年齢16歳以上の人（平成22年1月1日以前に生まれた人）
- ロ 非居住者のうち、次のいずれかに該当する人
 - （イ） 年齢16歳以上30歳未満の人（平成22年1月2日から平成22年1月1日までの間に生まれた人）
 - （ロ） 年齢70歳以上の人（昭和31年1月1日以前に生まれた人）
 - （ハ） 年齢30歳以上70歳未満の人（昭和31年1月2日から平成28年1月1日までの間に生まれた人）のうち、「留学により国内に住所及び居所を有しなくなった人」、「障害者」又は「あなたから令和7年中において生活費又は教育費に充てるための支払を38万円以上受ける人」

※「扶養親族」とは、あなたと生計を一にする親族（里子や養護老人を含み、配偶者、青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。）で令和7年中の合計所得金額の見積額が58万円以下の人をいいます。

▶③ 個人番号

源泉控除対象配偶者及び控除対象扶養親族の個人番号を記載する必要がありますが、一定の要件の下、個人番号の記載を要しない場合がありますので、給与の支払者に確認してください。

退職所得を除くと令和7年中の合計所得金額の見積額が**58万円以下**となる扶養親族を有することにより、あなたが寡婦又はひとり親に該当する場合に、チェックを付けます。